

## 令和4年度 年度報告書

# 仏向原ふれあい公園

- 1 様式1 (施設概要、指定管理者概要)
- 2 様式2 (管理運営体制(事業計画書様式2)の報告、利用促進・市民協働等(事業計画書様式3)の報告、維持管理(事業計画書様式4)の報告)
- 3 様式3 (有料施設利用回数・人数・稼働率(月別)・利用料金収入実績、令和4年度公園利用状況)
- 4 様式4 (令和4年度修繕実績)
- 5 様式5 (令和4年度増減備品一覧)
- 6 様式6 (苦情要望対応報告、事件・事故・災害対応報告)
- 7 様式7 (利用者アンケート結果)
- 8 様式8 (研修実施報告)
- 9 様式9 (無料事業実施報告一覧(自主事業含む)、有料事業実施報告一覧(自主事業含む))
- 10 様式10 (業務の第三者委託実績)
- 11 様式11 (収支報告書(指定管理事業のみ))
- 12 様式12 (運営目標・実績報告)

## 横浜市指定管理者

夢を植える。未来を育む。 *Well future together*



**横浜植木株式会社**

(事業報告書様式1)

1 施設概要

公園名	・仏向原ふれあい公園
所在地	・保土ヶ谷区仏向町 1252 番 1 ほか
公園積、公園種別	・7,204 m <sup>2</sup> 街区公園
主な施設	分区園、協働農園、倉庫棟 (トイレ共)、多目的広場、花木の散策路、斜面緑地
特徴	<p>【分区園・協働農園の規模】 ・分区園 (個人) 12 m<sup>2</sup>×45 区画 ・分区園 (団体) 40 m<sup>2</sup>×2 区画 ・協働農園：果樹園 170 m<sup>2</sup>、景観畑 250 m<sup>2</sup> 【その他】</p> <p>・公園周辺には、中学校、地域ケアプラザ、新築の戸建住宅が多くあり、遊具や自由広場を設けた一般的公園ニーズに対応しています。</p> <p>・公園は、西側・北側に斜面緑地があり、北側・東側に開けた日当たりの良い敷地です。</p>
公園開園日	平成 31 年 4 月 1 日開園

2 指定管理者概要

指定管理者名	横浜植木株式会社
代表者名	代表取締役 伊藤 智司
所在地	横浜市南区唐沢 15
指定管理期間	平成 31 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日
現指定管理者管理運営開始日	平成 31 年 4 月 1 日～

(事業報告書様式2)

1 管理運営体制 (事業計画書様式2) の報告

<p>(1) 管理運営体制</p> <p>当公園の特性、運営方針にふさわしい施設長 (以下、「管理運営責任者」という) 及び副施設長 (以下、「専任担当職員」という) を配置するとともに、現指定管理者としての管理実績に基づく適切な職員の業務分担の運営体制により運営しました。管理運営責任者は、公園内業務全ての責任を持ち管理運営を行いました。苦情要望への対応やイベントの企画開催、修繕計画・実行などを行います。また、他農園付公園の管理運営責任者と兼任とし、指示系統の一本化を行います。情報の共有化をすることができ、他農園付公園内での病虫害発生状況、不法行為などの情報の共有化、資材や道具などの共有化もしやすくなります。専任担当職員は、現地責任者とし、現地での利用者対応や園内作業などを行います。毎巡視日に管理運営責任者に当日の作業結果や利用者の様子等、必ず報告をして密に連携しました。</p> <p>(2) 勤務体制</p> <p>・平日 1 日、土日祝 1 日の週 2 日専任担当職員による巡視点検や、園地除草等維持管理作業、収穫体験、栽培相談などの利用者サービス対応を行いました。また、連絡員を登用し、職員不在時でもいち早く公園の状況を把握できるようにし、目の行き届いた管理運営を行いました。</p>
---

・時間外の連絡体制・対応は、コールセンターを設け 365 日 24 時間連絡を受付可能にし、二次対応を管理運営責任者、本部担当職員が行いました。また専任担当職員については、可能な限り勤務地公園近隣に居住する者を配置し、不測の事態にも早期対応ができるような体制を構築します。さらに、利用者連絡員を配置し、迅速に現地の状況把握と対応ができるようにしました。

## 2 利用促進・市民協働等（事業計画書様式3）の報告

**利用者ニーズ把握の取組み**：利用者サービス向上の為、満足度把握とともに、利用者の多種多様な要望やニーズを把握しました。巡視日に利用者と直接コミュニケーションを取ることを最も重視しており、丁寧な対応を心がけ、利用者がより楽しく快適に過ごせる公園づくりを行いました。

また、作業お知らせボードで「公園運営の見える化」に取組み、作業日当日に職員がどこで何の作業をしているのか一目でわかるように設置しました。居場所を発信することで、苦情要望や緊急時に迅速に対応できるようになり、安全安心な公園づくりに繋がりました。

**満足度向上の取組み**：当公園の魅力は、菜園活動や収穫体験ができることです。分区園利用者に向けた栽培相談等の様々なサービス、分区園利用者以外の方々に向けた協働農園を活用した体験等、魅力を最大限に発揮し、利用者満足度の向上を図りました。

## 3 維持管理（事業計画書様式4）の報告

### 巡視について

巡視点検表は、仕様書記載事項のほか、管理する中で気がついた重要点検箇所をエリア毎に図示できる独自の巡視点検表を作成して使用しました。

定期巡視	週 2 日（104 回/年）	巡視点検表に記録
臨時巡視	台風・豪雨・イベント時・地域のイベント時	事故の防止、二次災害を防ぐ目的で実施
	※他公園での事故発生時	当公園においても起こりうる案件の場合は、緊急点検後、内容・結果を市に報告

### 設備点検について

- ・建物（倉庫・トイレ）の施設点検は、週 5 日（260 回/年）行いました。
- ・給排水設備は、日常点検・定期点検を適切に実施し、衛生面に配慮します。特に農作業で発生する土洗いなどで泥による詰まりが発生しやすい為、定期的な点検清掃を行いました。
- ・側溝は梅雨期・台風前は重点的に点検し、詰まりのないよう随時清掃を行いました。

### 維持管理

来園者が気持ちよく公園を散策できるよう、常に清潔で安心安全な路面を保ちました。

巡視時は園路上部の危険枝のチェックを行い、発見した際は随時剪定対応を行いました。

### 施設の長寿命化

日頃の巡視点検時から施設に配慮し、修繕箇所が悪化しないよう早期発見・対応を心掛けました。

(事業報告書様式3)

1 有料施設利用回数・人数・稼働率(月別)・利用料金収入実績 ※有料施設がある場合のみ該当

月別	分区分園利用区画数	稼働率
4月	43	96%
5月	44	98%
6月	44	98%
7月	44	98%
8月	45	100%
9月	45	100%
10月	45	100%
11月	45	100%
12月	45	100%
1月	45	100%
2月	45	100%
3月	45	100%

2 令和4年度公園利用状況(園地や無料施設で利用者数を計測している場合は記入)

月別	公園の利用人数	備考
4月	—	
5月	—	
6月	40名	ジャガイモ収穫イベント25名 レタス収穫イベント15名
7月	—	
8月	15名	ナス、ピーマン収穫体験15名
9月	—	
10月	64名	落花生収穫イベント16名 サツマイモ収穫イベント27名 和綿人形作り21名
11月	36名	サトイモ収穫イベント27名 サツマイモ収穫イベント9名
12月	28名	ダイコン収穫イベント28名
1月	2名	ダイコン収穫2名
2月	—	
3月	—	
年間合計	185名	

(事業報告書様式4)

令和4年度修繕実績 (※指定管理者が実施したもののみ記入)

修繕年月日	修繕箇所	金額 (単位:円)	委託業者名または直営かの記載
1月14日～2月14日	区画板	22,500円	直営
1月25日～2月8日	土留め	103,500円	直営
1月31日	案内看板支柱	2,500円	直営
2月8日～2月23日	ベンチ	24,000円	直営
合計		152,500円	

(事業報告書様式5)

令和4年度増減備品一覧 (※指定管理者が購入・廃棄したもののみ記入)

品名	形状・その他	単価 (円)	購入		廃棄		増減理由
			数量	年月日	数量	年月日	
なし							

(事業報告書様式6)

苦情要望対応報告

	年月日	内容	対応結果
1	3月28日	草刈りを行った際、強風により公園斜面地上部の畑に刈草が入り込み、野菜が植付けられないと苦情がありました。	4月1日、畑所有者・横浜市・横浜植木の三者で話し合いを行った後、畑にこれ以上刈草が飛散しないよう境界柵にネットを張りました。また、畑所有者に許可をもらった上で、毎日刈草の除去作業を行いました。さらに園内法面の樹木を伐採して欲しいと畑所有者からの要望がありましたが、伐採ではなく剪定で了承を得ましたので、樹木剪定を行いました。その後畑所有者は野菜の植付を行っていました。今後草刈を行う際は強風を避け、畑近辺は手作業で行うなど、最新の注意を払います。
2	7月9日	隣接区画が耕作放棄されており、雑草を除去して欲しいと要望あり。	即日雑草の撤去を行いました。
3	9月29日	来園者の方より、遊具広場の水飲み場から水が滲み出ていると指摘があった。	二日後、スタッフが漏水修理を行いました。

事件・事故・災害対応報告

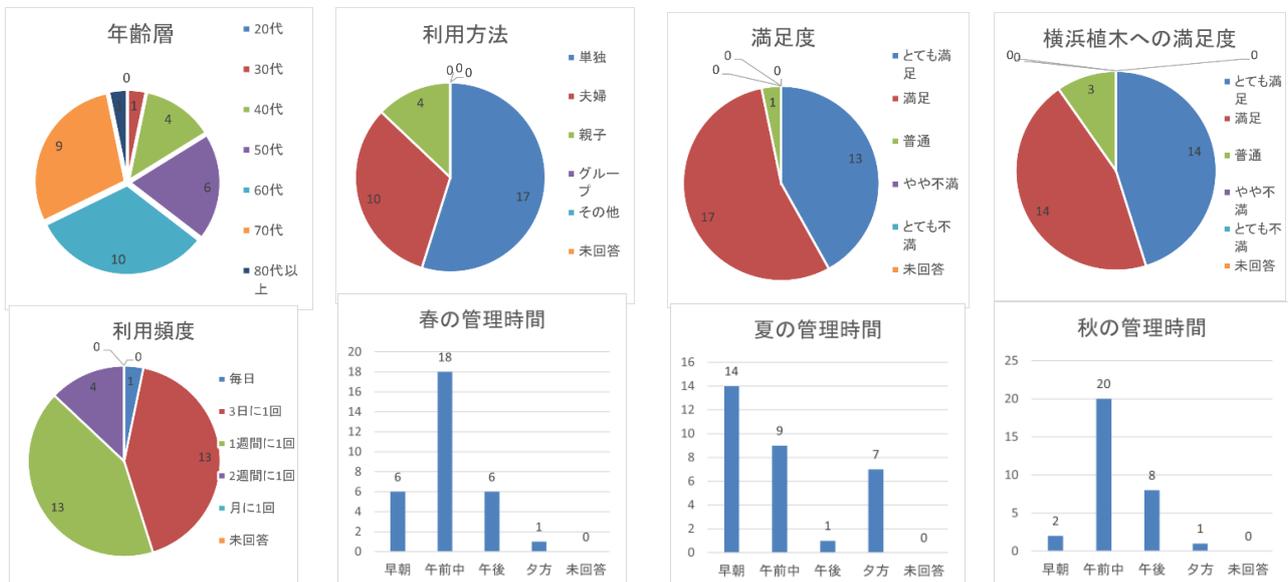
	年月日	内容及び被害	対応結果
1	なし		

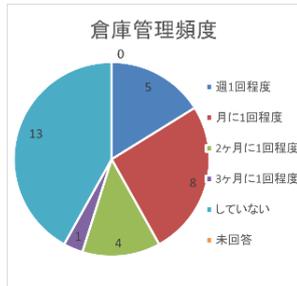
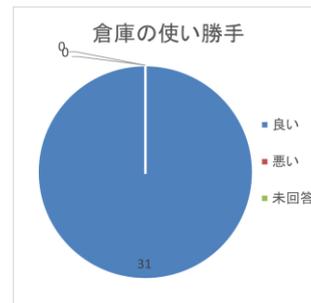
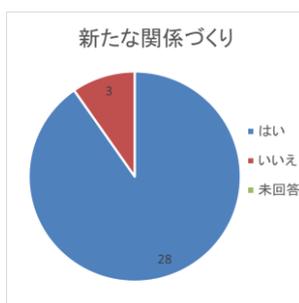
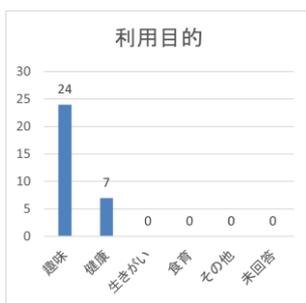
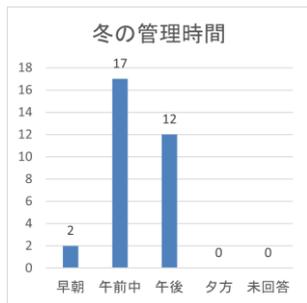
(事業報告書様式7)

利用者アンケート結果

アンケート項目

- 貴方の年齢層・利用方法を教えてください。
  - 20代
  - 30代
  - 40代
  - 50代
  - 60代
  - 70代
  - 80代以上
  - 単独利用
  - 夫婦利用
  - 親子利用
  - グループ利用
  - その他
- 今年度分区園利用について、ご満足いただけましたか？該当するものに○をして下さい。
  - とても満足
  - 満足
  - ふつう
  - やや不満
  - とても不満
- 指定管理者 横浜植木㈱の今年度の働きはいかがでしたか？
  - とても良かった
  - 良かった
  - ふつう
  - 悪かった
  - とても悪かった
- 分区園の利用頻度はどのくらいでしたか？
  - 毎日
  - 3日に一回
  - 1週間に一回
  - 2週間に一回
  - 1か月に一回
- 分区園の利用時間について、季節ごとに該当する番号をご記入下さい。 春：夏：秋：冬：
  - 早朝（6時～9時）
  - 午前中（9時～12時）
  - 午後（12時～15時）
  - 夕方（15時～18時）
- 分区園のご利用目的は何ですか？
  - 趣味
  - 健康
  - 生きがいがづくり
  - お子様の食育
  - その他
- 分区園を通して新しく築いた関係はありましたか？
  - はい
  - いいえ
- 共有施設部分は利用者に日常管理をお願いしていますが、どのくらいの頻度で行いましたか？
  - 週一回程度
  - 月に一回程度
  - 2か月に一回程度
  - 3か月に一回程度
  - していない
- 倉庫の使い勝手はいかがでしたか？
  - 良かった
  - 悪かった
9. で ②悪かった と答えた方は、その理由があれば教えてください。
- 分区園の利用について、何かご要望がございましたら、ご記入お願いいたします。





ご意見：スタッフのお陰でおいしい野菜ができた  
快適に利用している  
無農薬の野菜のおいしさを実感できた

ご要望：土や苗の支払いがクレジット払いだと便利

貸出し農具の数を増やしてほしい

堆肥置場にビニールやプラスチック製品を捨てている人がいるので  
止めさせてほしい  
抽選がない方がよい

### アンケート結果より（総括）

利用者層は、30代から80代以上と幅広い年齢の方に利用していただきました。

横浜植木に対する満足度は高く、積極的な声かけやサポートの効果だと考えられます。今後も高い満足度を維持していけるよう努めます。

（事業報告書様式8）

#### 研修実施報告

	実施日	研修名	参加人数	内容及び効果
1	4月12日	個人情報保護研修	6名	公園業務において重要なスキルを身に着けるため実施しました。
2	4月12日	接遇・障がい者対応研修	6名	障がいをお持ちの利用者に対して、適切な配慮を行うことで、現場での対応など、柔軟な対応力を身に付けました。
3	6月15日	広報研修	6名	著作権侵害の注意すべきポイントを学びました。
4	4月～12月 月1回開催	植栽管理技術研修 (野菜作り)	6名	栽培相談員を講師に園地管理技術の向上を目的に野菜の育て方や土作り等について研修を行いました。
5	8月30日	施設長研修	1名	利用者・職員管理、運営、収支管理について学びました。
6	9月15日	農業研修	6名	職員の栽培技術の向上の為、土作りについて学びました。

(事業報告書様式9)

無料事業実施報告一覧 (自主事業含む)

事業名	事業内容・実施結果	参加人数	実施日
作付け講習会	新年度が始まる前に、栽培相談員が土作りや作付け計画等についての講義を行いました。	44名	利用者説明会時
栽培相談日	週2日の巡視日の他に耕作アドバイスを月1回実施しました。相談員は、全国の農家を相手に指導・相談をしてきたベテラン栽培相談員です。土づくりから収穫まで指導を行いました。	77名	4～12月
栽培相談ノート	栽培相談ノートを設置し、栽培している作物や次に育てる作物に関して質問を受け付けました。回答は、巡視日・栽培講習会日にノートに記入し、誰でも閲覧できるようにしました。	—	通年
菜園生活ガイドブック	初めて野菜作りをする利用者が、野菜作りの基礎について確かめられることを目的に、季節の野菜の種類、植付け方法、マルチングの張り方等、写真を使って分かりやすくまとめたものを倉庫内に設置しました。	—	通年
無料配布	公園の協働農園などで収穫を迎えた野菜などを無料配布しました。	—	4月～3月
収穫体験	共同農園で収穫を迎えた野菜の収穫体験イベントを開催しました。	15名	8月
土壌検査	土の状態を把握することで、育てたい作物に適した土壌、肥料の調整に役立てていただきました。	—	通年
資材・道具の無料提供 (レンタル)	利用者に、より快適に菜園生活を送ってもらうことを目的に実施しました。	—	通年
公園野菜のおいしいレシピの提案	食を通して農へ興味を持って貰う事を目的に実施しました。旬の野菜を簡単に調理できるレシピの掲示や配布を行い、分区園の利用希望者数拡大に結びました。	—	通年
緑のカーテン設置	地球温暖化対策などを目的に設置しました。	—	6月
プロの堆肥づくり	園内の大規模な堆肥置き場を活用し、正しい堆肥づくりを行いました。ゴミの削減、堆肥代の軽減に繋がり、分区園、協働農園等に利用し、循環型農業を目指しました。	—	通年
花いっぱい活動	季節の花々やチューリップ、蝶々が好む植物等で公園内を彩りました。	—	通年
瓦版の発行	紙面で最近の公園の出来事、野菜、季節の花などをまとめ、掲示しました。	—	3月～4月

HP・SNSの活用 (Twitter) (Instagram)	地域の方への情報発信を行うため、活用しました。来園しなくても公園情報が分かるようにしました。来園のきっかけになるように、明るい雰囲気の写真を使用するように心掛けました。	—	3月～ 4月
---------------------------------------	--	---	-----------

有料事業実施報告一覧（自主事業含む）

事業名	事業内容・実施結果	参加人数	実施日	自主事業決算額	
				自主事業費(円)	自主事業収入(円)
1袋毎の資材販売	重い堆肥等を現地まで運搬・販売しました。資材運搬を理由とする路上駐車対策にも繋がりました。	—	随時	42,200円	42,200円
耕運サービス	年1回無料耕運の他、夏野菜～秋冬野菜の切替時など希望者の畑の耕運を行いました。（個人1,000円/回・団体2,000円/回）	—	随時	0円	0円
和綿から糸を紡ごう	協働農園で収穫した和綿を使用して、ウサギの人形を作るイベントを開催しました。	21名	10月	2,100円	2,100円
収穫イベント	協働農園で栽培したジャガイモ・レタス・落花生・サツマイモ・ダイコンの収穫イベントを開催しました。	149名	6月 10月 11月 12月	14,600円	14,600円
合計				58,900円	58,900円

（事業報告書様式10）

業務の第三者委託実績

業務	内容	委託会社	金額(円)	年回数	実施月
植栽管理	草刈工・剪定工	(株)佐藤造園	1,346,400円	年3回	5～2月
植栽管理	草刈工	赤坂造園(有)	128,160円	—	5月
植栽管理	剪定工	植弘	25,000円	—	10月
電気設備・保守点検	園内灯設備の保守点検業務	(株)平岡電機	61,323円	年1回	9月
施設管理	廃棄物処分	緑のリサイクルプラント	18,718円	年5回	4～1月
コールセンター	夜間・緊急時・年末年始等対応	京浜警備(株)	33,000円	時間外	通年

(事業報告書様式 11)

収支報告書 (指定管理事業のみ)

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	7,844,166		7,844,166	7,844,166	0	
利用料金収入	930,000		930,000	802,500	127,500	
自主事業収入	110,500		110,500	58,900	51,600	
雑入	0		0	0	0	
その他雑入	0		0	0	0	
収入合計 (a)	8,884,666		8,884,666	8,705,566	179,100	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	3,653,500		3,653,500	4,309,379	-855,879	
給与・賃金	3,115,600		3,115,600	3,665,000	-749,400	
社会保険料	496,000		496,000	516,000	-20,000	
通勤手当	24,500		24,500	120,000	-95,500	
福利厚生費	17,400		17,400	8,379	9,021	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
事務費	1,627,694		1,627,694	1,213,237	464,455	
旅費	110,000		110,000	27,370	82,630	
消耗品費	840,694		840,694	729,926	150,766	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	0		0	0	0	
通信運搬費	20,000		20,000	19,845	155	説明会切手代等
使用料及び賃借料	0		0	0	0	
(横浜市への支払い分)	0		0	0	0	
(その他)	0		0	0	0	
備品購入費	350,000		350,000	125,000	225,000	
保険料	36,000		36,000	30,280	5,720	見積額
振込手数料	1000		1000	0	1,000	
リース料	240,000		240,000	252,816	-12,816	
手数料	0		0	0	0	
その他事務費	30,000		30,000	18,000	12,000	
自主事業費	110,500		110,500	58,900	51,600	
管理費	3,062,000		3,062,000	2,468,708	903,292	
光熱水費合計	260,000		260,000	263,607	-3,607	市提案額
光熱水費 (電気)	113,000		113,000	106,264	6,736	
光熱水費 (ガス)	0		0	0	0	
光熱水費 (水道)	147,000		147,000	157,343	-10,343	
光熱水費 (下水道)	0		0	0	0	
清掃費	460,000		460,000	440,000	20,000	
修繕費	150,000		150,000	152,500	2,500	
機械警備費	132,000		132,000	0	0	
公園及び公園施設設備保全費	2,060,000		2,060,000	1,612,601	447,399	
施設 (建物)・設備保守	110,000		110,000	61,323	48,677	電気設備点検
園地管理費	1,950,000		1,950,000	1,551,278	398,722	草刈・剪定 1,499,560 円、夜間警備 33,000 円、廃棄物処分 18,718 円
その他保全費	0		0	0	0	
公租公課	0		0	0	0	
公租公課 (事業所税)	0		0	0	0	
公租公課 (消費税)	0		0	0	0	
その他公租公課	0		0	0	0	
事務経費 (本部分)	375,972		375,972	415,380	39,408	
雑費	55,000		55,000	219,060	-164,060	利用者連絡員、通信費など
支出合計 (b)	8,884,666		8,884,666	8,684,664	200,002	
差引 (a - b)	0		0	20,902	-20,902	

仏向原ふれあい公園 令和4年度 事業報告書

(参考) 指定管理事業外の収支

設置管理許可収入合計 (c)	120,000	120,000	121,164	1,164	自動販売機
設置管理許可支出合計 (d)	42,520	42,520	47,200	0	電気代
差引 (c - d)	77,480	77,480	73,964	1,164	

今年度の収支報告

- ・花修景で使用する球根・花卉類は当団体の取扱い商品を使う事で、珍しい種類でありながら定価以下の価格で調達しました。咲き終わった球根は利用者へ無料で配布する等創意工夫で利用者満足度を向上しました。
- ・業務の繁閑に応じて効率的に人員を配置しました。(草刈シーズン、樹木剪定時など)
- ・研修やOJTにより常に職員のレベルアップを図り業務の効率化を行いました。
- ・地域人材の育成、地域協働の推進という観点からパートタイマーは積極的に地元雇用を図りました。副次的な効果として通勤費の縮減が期待できました。
- ・コスト意識を持ち指定管理料縮減に努めました。直営作業を基本とし、委託費縮減に努めました。
- ・不具合のある道具を使用することは作業効率低下だけでなく、思わぬ怪我にもつながります。備品は定期点検と適切なメンテナンスを行い作業効率維持と備品の長寿命化に努めました。

(事業報告書様式 12)

運営目標・実績報告【自己評価 ◎：特筆すべき取組がある ○：達成している △：改善を要する】

項目	計画時の取組み内容及び具体的な数値目標	実績	自己評価 (◎・○・△)	改善点等 今後の取組
業務運営1 (事業計画書様式2：運営業務の実施計画・取組)	個人分区園利用率 100%と公園の知名度向上として、近隣地域への広報PR 活動を行います。人と人を繋ぐコミュニティ形成の場となっていくよう良好な自然環境と景観の維持に努めます。	分区園(個人区画)利用率 100%、(団体区画)利用率 0%。 施設関係は、巡視日以外にも公園に赴きチェックを行い、施設点検を行いました。	◎	分区園(団体区画)利用率 100%を維持させるため、サービスの向上と分区園利用者との交流を深めます。
業務運営2 (事業計画書様式2：管理運営体制、人員の配置と研修計画)	・緊急時に対応できる柔軟な配置 施設長 1名 副施設長 1名 運営スタッフ(正規) 3名 運営スタッフ(非正規) 2名以上 本部指定管理課職員 2名 防災訓練の実施等を徹底します。 ・「利用者満足度向上」や	左記人員通りに配置しました。また常に本部職員が待機し、防災・災害対応に備えました。 公園での防災訓練はコロナ禍で出来ませんでした。が、月1回の職員ミーティング時に、緊急対応について講習を行いました。 個人情報保護研修を開催	○	引き続き複数の職員が運営に関わっていくことで、誰にとっても安心安全な公園運営に努めます。 農園付き公園の職員として必要な能力(お客様目線で考え、行動でき

	「継続的利用」につながる体系的な研修（様式2(4)研修計画のとおり）と自己啓発環境の整備し、信頼性、安心感、清潔感、共感力、迅速さを養う研修を実施します。	するとともに、毎月安全研修を実施する等、レベルアップを図りました。		る)を身に着けられる研修を行います。
業務運営3 (事業計画書 様式3:利用者サービスの向上・利用促進策)	① 分区園利用者以外の方の協働農園への来園 ② アンケートの満足度 85%以上 利用者がより楽しく快適に過ごせる公園づくりを行うことで、積極的かつ迅速な対応で公園の魅力アップに努めます。	①収穫体験者のべ185名 ②満足度 97% コロナ禍でもイベントを開催し、大勢の方に来園していただきました。	◎	分区園利用者以外の方の協働農園への来園者を増やすために、気軽に参加できる収穫体験の数を増やします。また利用者満足度を上げるために、サービスの向上と分区園利用者との交流を深めます。
業務運営4 (事業計画書 様式3:広報・プロモーションの取組)	SNSを毎月1回以上の更新を行うなど、来園者に分区園や公園の魅力を知っていただき、「分区園を借りてみたい」と思ってもらえるような広報活動をし、世代間の交流を含めた様々な人たちの輪が広がっていくような広報を積極的に行います。	SNSでは、極力明るい雰囲気の写真を更新するように心掛けました。興味を持ってもらうことで、来園のきっかけをつくりました。また、年2回「仏向原ふれあい公園ニュースレター」を作成し、掲示板に掲示しました。	○	当公園は、職員常駐の公園ではないことから、公園の掲示板やHP等は来園者とのコミュニケーションツールとして丁寧に作成し、最新の情報を提供するように心掛けます。
業務運営5 (事業計画書 様式3:市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成)	様式3(3)の「具体的な取組み」のとおり、利用者にとって安全安心な公園づくりを行います。また、市民主体の活動をつくり、公園全体の賑わいを創出します。	利用者にとって安全安心な公園づくりを行う為、利用者連絡員や地域サポーター、地域清掃スタッフを配置する体制を取りました。また、今年度は市民主体の「公園で遊ぼう」活動を行いました。	○	引き続き、地域の方々からの要望などを掘り起こし、市民主体の活動を支援したいと思います。

<p>業務運営6 (事業計画書 様式3:地域 課題を踏まえ た事業提案・ 地域活性化へ の貢献)</p>	<p>様式3(3)の「具体的な取 組み」のとおり、地域活性化 へ貢献し、公園全体の賑わい を創出します。</p>	<p>地域の特性を活かし、近 隣施設と連携を図りなが ら、地域の方の活動の拠 点として、公園を活用し ました。</p>	<p>○</p>	<p>引き続き、地域に 愛される公園とし て、地域連携を強 くし、地域活性化 へ貢献したいと思 います。</p>
<p>業務運営7 (事業計画書 様式3:本市 の重要施策を 踏まえた取 組・環境への 配慮)</p>	<p>様式3(7)に掲げたとお り、横浜市のSDGs未来都市 計画について、近隣住民や市 と連携して環境への配慮・文 化創出・防災対策など様々な 面に於いて積極的に課題解決 に取り組むことで地域コミュニ ティ活性化に協力し、街と緑 の共存を進めることで、人々 の社会生活に豊かさや心のゆ とりを提供します。</p>	<p>地域活動団体の会合に参 加し、地域住民の要望を 掘り起こしました。 電動機械(特に草刈機、 刈込機、プロワーは全機 電動化)にすることで、 植物の油接触や、騒音、 振動について改善され、 発生材についてもヨコハ マ3R夢プランに沿って適 正に処理・リサイクルに 努めました。</p>	<p>◎</p>	<p>地域との関わりが 強い子どもと高齢 者世代を、積極的 に公園を拠点とし てつなげ、地域の 活力増進に努めま す。</p>
<p>業務運営8 (事業計画書 様式4:公園 の魅力を高め る施設保全・ 管理)</p>	<p>分区園利用者に向けた栽培相 談等の様々なサービスを行 い、管理棟・トイレなどの維 持管理に努めます、また、様 式4(3)に記載した計画表 のとおり、施設の長寿命化の ため、日頃の巡視点検時から 施設に配慮し、修繕箇所が悪 化しないうちに、早期発見・ 早期対応を心掛けます。</p>	<p>4月から始まった栽培相談 日には、分区園利用者 に適宜アドバイスを行いま した。また、巡視日と巡 視日以外にも各施設に関 して、利用者の安全と利 便性確保を第一に目視点 検を行いました。</p>	<p>◎</p>	<p>引き続き栽培相談 等のサービスを継 続するとともに、 各施設に関して、 利用者の安全と利 便性を確保しま す。</p>
<p>業務運営9 (事業計画書 様式4:施設 (建物等)、設 備の維持管 理、修繕計 画)</p>	<p>建物(倉庫・トイレ)の施設 点検は、週5日(260回/年) 行い、誰もが安全安心、清潔 快適に利用できるよう、質の 高い維持管理を行い、人と人 を繋ぐコミュニティ形成の場 となっていくよう良好な自然 環境と景観維持に努めます。</p>	<p>水準書に則り作業を実施 するだけでなく、巡視日 以外も点検を行い、早期 の不具合発見に努めまし た。</p>	<p>○</p>	<p>引き続き誰もが安 全安心、清潔快適 に利用できるよ う、質の高い維持 管理を行うととも に、定期的に施設 等の劣化状況を確認 します。</p>

<p>業務運営 10 (事業計画書 様式 4 : 樹木、植栽等の管理)</p>	<p>様式 4 (4) に記載したとおり、利用者への安全配慮の見える化を実施し、裸地や不陸があった場合は、養生、用地の補充を行い、適切な草地管理を行います。また、果樹それぞれの特性を踏まえ、樹種ごとに適切な年間管理計画を立て、実施します。</p>	<p>水準書に則り作業を実施するだけでなく、巡視日以外も点検を行い、早期の不具合発見に努めました。</p>	<p>○</p>	<p>引き続き維持管理水準書に則った法定点検を随時実施し、誰もが安心安全に寛ぐことができます。</p>
<p>業務運営 11 (事業計画書 様式 4 : 巡視・清掃)</p>	<p>様式 4 (5) 巡視・清掃のとおり、修繕箇所を早期発見を心がけ、日常巡視を行い、汚れ、落葉、ゴミの有無、清掃、ゴミ収集を実施します。道路・住宅沿いの落葉清掃は徹底して行い、近隣に配慮します。</p>	<p>261 回清掃を行いました。園内の状況を見て、草の伸びが早い箇所は他エリアより回数を増やす等、水準書以上の管理となるように心がけました。</p>	<p>○</p>	<p>日常清掃に力を入れることで、建物や設備の維持管理を徹底し、いつも清潔な状態を保ちます。また、植栽管理にも力を入れます。</p>
<p>収支 (事業計画書 様式 7 : 収入確保、経費節減策)</p>	<p>利用者サービスを充実させ、自主事業の収益増を目指します。また各施設に関しては、耐用年数表と現場の状況に応じて、修繕計画表を作成し、計画的に修繕を行うことでライフサイクルコスト削減をめざし、長寿命化と美観保持に努めます。</p>	<p>施設の長寿命化の為、計画的に点検、修繕を行いました。また、夏場は人員を増やし、直営での草刈等の園内維持管理作業を中心にを行いました。協働農園の野菜は、自社製品を中心に、園内で必要な資材は取引先から安価で購入できる資材を活用しました。</p>	<p>◎</p>	<p>今後も直営作業をすることで委託費縮減に努めます。取引先から安価に購入できる資材を活用します。道具類は安定的に使えるよう丁寧に扱い、使用した後はこまめに手入れすることで、長寿命化に努めます。</p>